

阪神・淡路大震災30年 防災シンポジウム

～災害を乗り越えていくために～

開催日時

2025. 2/8 (土)

13時～16時40分 (開場：12時)

12時～
防災展示
も開催!

会場

武庫川女子大学
公江記念講堂 (中央キャンパス)

【参加費**無料**・申込不要】

詳細情報は
こちら



来場者には防災グッズ
をプレゼント!

『阪神・淡路』の未曾有の大災害から30年を経過した現在、阪神間は何事も無かったように蘇っていますが、我国ではその後も地震災害が後を絶ちません。また、今後必ず来ると言われている南海トラフ地震への備えも必要です。『阪神・淡路』から30年を機に、その後の災害の被害を戒めとして備えを自らに課す必要から、当シンポジウムを企画しました。

第1部 基調講演

①阪神・淡路大震災を振り返って



講師

井戸敏三

Toshizo Ido

<講師プロフィール>

昭和20年兵庫県たつの市新宮町生まれ。震災後の平成8年より兵庫県副知事、平成13年から兵庫県知事として、災害復興に奮励。知事退任後は、公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構特別顧問を務める。

②安心して逃げることのできる 社会をつくる



講師

矢守克也

Katsuya Yamori

<講師プロフィール>

京都大学防災研究所副所長。地区防災学会会長、日本自然災害学会理事等を務める。南海・東南海地震による津波での防災活動に関する研究と実践を進める。防災ゲーム「クロスロード」や津波避難訓練アプリ「逃げトレ」の開発などを行う。

総合司会：武庫川女子大学 放送部
主催：西宮市・武庫川学院
共催：鳴尾連合自治会・日本災害医療薬剤師学会
(お問い合わせ) 西宮市役所防災危機管理課 ☎0798-35-3092



第2部 パネルディスカッション

テーマ：自主的な避難生活の心得

話題提供①

平常時のまちづくりが災害時に活かされる
～西宮市立安井小学校の事例から～



パネラー・話題提供者

ハツ塚 としえ
Toshie Yatsuzuka

<プロフィール>

阪神大震災時は神戸大学大学院生。震災後、西宮市立安井小学校避難所にボランティアとして関わりながら、避難所運営やまちづくりに関する実践研究をおこなう。2004年から熊本市在住。

話題提供②

避難所でのトイレとこれからの備え



パネラー・話題提供者

加藤 篤
Atsushi Kato

<プロフィール>

日本トイレ研究所代表。被災地でのトイレ調査や改善策検討、聞き取り調査などを実施。災害時に向けたトイレの備えや防災トイレ計画等の啓発や衛生管理講習会等で人材育成に努める。



パネラー

大川 恭子
Kyoko Ohkawa

<プロフィール>

武庫川女子大学薬学部教授・薬剤師。日本災害医療薬剤師学会理事・副会長。災害時医療における薬剤師の関わり等を研究。阪神・淡路大震災直後から現在まで、医療従事者の一員としてボランティア活動を実践。



パネラー

川崎 洋光
Hiromitsu Kawasaki

<プロフィール>

元西宮市消防局長。現在鳴尾連合自治会 会長兼、スポーツ21鳴尾北 会長。上鳴尾町の自治会長時代から、地域住民の親睦や環境美化、防犯・防災活動等に力を入れ、災害時に有効に機能する地域住民の絆の強化に努める。

コーディネーター

石井 登志郎 (西宮市長)



<プログラム>

- 12:00 開場
- 13:00 復興の歌 合唱
武庫川女子大学音楽学部 有志
- 13:15 開会挨拶
西宮市長 石井登志郎
武庫川女子大学学長 瀬口和義
- 13:30 第1部 基調講演
- 15:00 休憩
- 15:10 第2部 パネルディスカッション
- 16:40 質疑応答～閉会

入ロフロア・屋外にて
モバイルファーマシー、ドクターカーの展示
ハンドマッサージ体験、非常食の展示等開催!
詳しくは表面QRコードから!

武庫川女子大学 中央キャンパス
〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46



阪神「鳴尾・武庫川女子大前」駅から徒歩約7分
阪神「武庫川」駅から徒歩約10分